

科目名	生物基礎	単位数	2 単位
-----	------	-----	------

学習の到達目標

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うこと。 あわせて1年次においては、生徒の進路選択に資する興味関心の喚起を目指す。
使用教科書・副教材等	教科書 「生物基礎」 数研出版 図説 ニューステージ新生物図表 浜島書店 問題集 リードLight ノート生物基礎 数研出版

学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい
第1学期	導入	4	学習方法、ノートの取り方、課題、座席等についての指導。
	第1編 生物と遺伝子	5	第1編「生物と遺伝子」 生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。
	第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 3. 光合成と呼吸		ア 生物の特徴 (ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。
	第2章 遺伝子とそのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の発現	6	(イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。 イ 遺伝子とその働き (イ) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。 (イ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。
[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート			
[テスト範囲] 各考査間の学習範囲を指示する。			
[第1学期の評価方法] ①関心・意欲・態度②思考・判断・表現③技能④知識・理解の各観点を総括し、10段階評定とする。			

第2学期	3. 遺伝情報の分配	7	(ウ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。 ウ 生物と遺伝子に関する探究活動 生物と遺伝子に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めること。
	第2編 生物の体内環境の維持	8	
	第3章 生物の体内環境	9	第2編「生物の体内環境の維持」 生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識させる。
	1. 体液という体内環境	10	ア 生物の体内環境
	2. 腎臓と肝臓	11	(イ) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解すること。 (イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。 (ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。
3. 神経とホルモンによる調節			イ 生物の体内環境の維持に関する探究活動 生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めること。
4. 免疫			
[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート			
[テスト範囲] 各考査間の学習範囲を指示する。			
[第2学期の評価方法] ①関心・意欲・態度②思考・判断・表現③技能④知識・理解の各観点を含括し、10段階評定とする。			
第3学期	第3編 生物の多様性と生態系	12	第3編「生物の多様性と生態系」 生物の多様性と生態系について観察、実験などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解させ、その保全の重要性について認識させる。
	第4章 植生の多様性と分布	1	ア 植生の多様性と分布 (イ) 植生と遷移 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。 (イ) 気候とバイオーム 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。
	1. さまざまな植生		イ 生態系とその保全
	2. 植生の遷移	2	(イ) 生態系と物質循環 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。 (イ) 生態系のバランスと保全 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。
	3. 気候とバイオーム		ウ 生物の多様性と生態系に関する探究活動 生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めること。
第5章 生態系とその保全			
1. 生態系			
2. 物質循環とエネルギーの流れ			
3. 生態系のバランス			
4. 人間活動と生態系の保全			
[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート			
[テスト範囲] 各考査間の学習範囲を指示する。			
[第3学期の評価方法] ①関心・意欲・態度②思考・判断・表現③技能④知識・理解の各観点を含括し、10段階評定とする。			
[年間の学習状況の評価方法] 各学期の評定を含括し、年間の5段階評定とする。			